

2. 東北（地域別調査機関：（財）東北開発研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種 | 景気の先行きに対する判断理由 |
|----------------|----------------|--------------------|--|
| 家計 動向 関連 | 良くなる やや良くなる | 一般小売店〔スポーツ用品〕（経営者） | ・2月からサッカーのワールドカップ予選が始まり、3月からはJリーグが開幕するため、少しは良くなる。 |
| | | 高級レストラン（支配人） | ・リニューアルによってツインルームが増え、レストランへの来客数も増えている。また、チャペルの増設によって婚礼予約も増えている。宴会利用は前年並みであるが、全体的には前年より良くなっており、この傾向が続く。 |
| | | 美容室（経営者） | ・前年の秋ごろから状況の悪化が始まっていたが、初売り商品券の予約状況が前年並みになるなど良い兆候がみられる。 |
| | | 美容室（店員） | ・1年を通して来客数の増加が続いており、この傾向が来月以降も継続する。 |
| | | 住宅販売会社（従業員） | ・年明けに受注が見込めそうな物件も多いことに加え、少額資金の客をターゲットにした狭小地専門部署は順調である。 |
| | 変わらない | 一般小売店〔茶〕（経営者） | ・旧市街の商店街は年末であるにもかかわらず通常期と変わらない様子であり、季節商材を扱っている商店だけに客の出入がみられる。便乗値上げに対する不安感が消費者に漂っており、悪い状態のまま変わらない。 |
| | | 一般小売店〔医薬品〕（経営者） | ・今後ますます寒くなり雪も多いという予報もあり、また、紙類の値上げが家計には直接影響するなど、状況は悪くなる一方である。 |
| | | 百貨店（経営者） | ・先行きの不透明感からクレジットカードでの売上が下がり、現金購入の比率が高まっているが、客単価は低下している。このような買い控えが顕著になっており、この状況がしばらく続く。 |
| | | 百貨店（売場担当） | ・1月は初売りやセールも始まり、百貨店では来客数が非常に多い月であるが、この秋冬の客の動きをみる限り買い方は吟味に吟味を重ねて選ぶ様子がうかがえ、セールでもたくさん購入するようにはならない。また、既存客のショッピングセンターへの流出は間違い無く起こる。 |
| | | スーパー（店長） | ・年末でのおせち料理などの予約は順調であるが、それは外出を控え自宅で過ごす人が多いということであり、支出を切り詰めている証拠でもある。今後も灯油や食料品の値上げが家計を圧迫するため、景気が良くなる要因は無い。 |
| | | スーパー（店長） | ・高額商品が売れていない理由は、ガソリン、灯油価格などの上昇以外に考えられない。これだけ燃料費や暖房費が上がると、切り詰められるのは食費や衣料品くらいのものであるため、当面景気は良くならない。 |
| | | コンビニ（経営者） | ・商品の品ぞろえに配慮して高単価に誘導する対策と、低単価でも衝動買いを誘発する1品プラス政策を合わせて実施しており、その成果が表れ始めている。しかしながら、大型商材の販売不振があり、全体的に景気は変わらない。 |
| | | コンビニ（エリア担当） | ・業界全体が厳しいこともあるが、なかなか前年の売上実績に到達できない状況が続いている。 |
| | | 衣料品専門店（経営者） | ・暖冬のまま年を越すことになり、冬物処分セールが始まって主力の防寒物の売上は期待できない状態であり、景気の悪い状況が継続する。 |
| | | 衣料品専門店（経営者） | ・格差が拡大し、地方の中小企業は厳しさが増しており、年末にかけて倒産件数も増えつつある。原油高に伴う物価高騰を抑制する政策が必要である。ボーナスにしても、地方では官民格差が目立っている。 |
| | | 衣料品専門店（店長） | ・春物の時期になるが、冬場の灯油、ガソリン代が家計を圧迫するため、厳しい状況は続く。 |
| | | 家電量販店（店長） | ・現在は地上デジタル放送の開始もあって好調を維持しており、1月くらいはその流れが続くものとみられるが、原油高なども懸念されるため2、3月以降は不透明な情勢である。 |
| | | 乗用車販売店（経営者） | ・長期予報の大雪については懸念される場所であるが、既存車種の商談数は安定しており、これまでの流れを維持できるものと期待している。中越沖地震の影響も一部残るものの、復興需要としてプラスにとらえている。 |
| | | 住関連専門店（経営者） | ・初売り以降の客の動きをみなければわからないが、歳末商戦での客の動きは鈍く、しばらくは現在のような低調な状態が続く。 |

| | | |
|--------|---|---|
| | <p>その他専門店 [ガソリンスタンド] (営業担当)</p> <p>観光型旅館 (経営者)</p> <p>タクシー運転手</p> | <p>・販売価格の高止まりが続いているため、本格的な寒さが来なければ現状が変わらず続く。</p> <p>・1～3月にかけて、遠地からのツアーは比較的順調に予約が入っているものの、経済の冷え込みが続く地元客の入込は控えめに予想している。ツアー客についても実際の集客はシビアにみることにしている。</p> <p>・乗客から「景気が悪い」という話は始終聞くが、「景気が良くなった」という話はめったに聞かれない。またタクシーの台数は飽和状態であり、急激な改善は見込めない。</p> |
| やや悪くなる | <p>商店街 (代表者)</p> <p>一般小売店 [医薬品] (経営者)</p> <p>一般小売店 [雑貨] (企画担当)</p> <p>百貨店 (企画担当)</p> <p>百貨店 (営業担当)</p> <p>百貨店 (経営者)</p> <p>スーパー (経営者)</p> <p>スーパー (経営者)</p> <p>スーパー (店長)</p> <p>コンビニ (エリア担当)</p> <p>コンビニ (エリア担当)</p> <p>衣料品専門店 (経営者)</p> <p>乗用車販売店 (経営者)</p> <p>乗用車販売店 (経営者)</p> <p>乗用車販売店 (経営者)</p> <p>その他専門店 [化粧品] (経営者)</p> <p>その他専門店 [パソコン] (経営者)</p> | <p>・最も寒い時期を迎えることから、灯油高などに伴う燃料費の高騰により一般消費活動が抑制されるのは必至の情勢である。</p> <p>・冬場は灯油の使用量も増えるが、その価格が高騰していることもあり、他の商品は買い控えが進む。</p> <p>・個人消費の低迷に加えて、改正建築基準法の影響が色濃く出るため、建築関係資材、素材の販売は非常に落ち込む。</p> <p>・最近「消費マインドの悪化・冷え込み」などの報道が目につくようになってきていることに加え、年明けからの商品の値上がりも予定されており、消費マインドは一層冷え込む懸念がある。</p> <p>・「セール」に敏感に反応するなど、価格面にシビアな客がかなり増えている。来客数の改善見込みも立たず、客単価の上昇も難しいとすれば、しばらくは厳しい状況が続く。</p> <p>・現在のような買い控えの状況が続く。2か月後には春物がそろい始めるが、よほど目新しく欲しくなるような商品が無い限り、また生活防衛意識が緩まない限りは、客単価、買上点数共に低下傾向となる。生活に欠かせない食品に関して同様のことが言える。</p> <p>・クリスマスを過ぎても降雪が無い。豪雪も良くはないが、除雪作業によって建設業などに資金が回る面もあり、暖冬は地域経済にとってマイナスになる。</p> <p>・この地域では農家の動向が景気に影響を与えるが、最近の農業事情は何を作っても採算が合わないなど非常に厳しくなっており、春先にも状況は変わらない。また、郊外に大型のショッピングモールがオープンしたことで競合も厳しくなるため、全体的に落ち込んでいく。</p> <p>・年明けからめん類、ビールなどの値上げが予定されており、ますます儉約ムードが高まる。ガソリン、灯油価格も当面は高止まりすると見込まれ、売上の減少が続いていく。</p> <p>・最近の原油高が最も寒い時期には家計を圧迫する要因となり、必然的に「余計なものは買わない」という節約ムードにつながる。</p> <p>・ぜいたく品だけではなく、生活必需品であるパンや小麦なども値上がりしており、この先も下がる気配が無い。</p> <p>・年明けからの食料品や日用品の値上げによって生活防衛意識がますます高まり、衣料品への支出は抑えられると予想せざるを得ない。</p> <p>・買いたい車が無いというよりも、個人需要、法人需要共に買いたくても買えないという状況が今後も続いていく。</p> <p>・県の人口が前年から1万人以上減少しているが、同時に少子高齢化も進んでいることから、物を売る商売は職種を問わず苦しさが増している。平均所得も首都圏に比べて半分程度であり、車の販売についても安くて燃費の良い物にニーズが集中する。</p> <p>・季節的には初売りで市場も活気付くはずであるが、例年と比べると見込み客の数が少ない。関連商品で引き続き売上を伸ばしていくしかない。</p> <p>・コンパクトシティ構想のもとで官民一体となって中心市街地の活性化に取り組んでいるところであるが、延べ床面積を1万平方メートル以下にするなどして郊外に大規模な商業施設の集積が進んでおり、状況は厳しさを増していく。</p> <p>・地方になればなるほど中小企業での収入が減っているため、公務員以外の一般客は生活状態がこれからも厳しくなっていく。</p> |

| | | |
|----------------|------------------------|--|
| | その他専門店〔酒〕 （営業担当） | ・政治が安定していないが、選挙にでもなれば消費者の財布のひもはますます固くなる。先行きの不透明感が以前より増しており、少なくとも春先までは行動が慎重になるため、消費も抑制される。 |
| | その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当） | ・買い控えが相当進行しているため、しばらくは需要が伸びない。ガソリン価格の上昇は販売業者も困らせている。 |
| | 一般レストラン（スタッフ） | ・原油高に伴いガソリン価格など物価が上昇するため、外食も控えられようになる。 |
| | 都市型ホテル（スタッフ） | ・秋田では年末に大きな企業倒産が続いたこと、また、雪不足でスキー場も苦戦が予想されることなどプラス要素が無く、このままずるずると悪い方向に向かう。 |
| | 都市型ホテル（スタッフ） | ・中国、韓国からのインバウンド誘致に向けた官民一体の取り組みに手ごたえを感じていたものの、結果が出ない。現在、一般宴会もこの先新規受注がほとんど無い。 |
| | 都市型ホテル（スタッフ） | ・客の動きが鈍くなっていることに加え、食材などの仕入価格も高くなっている。仕入価格が上がっても、競争の激化もあって販売価格には反映できない状況であり、厳しさは増してくる。 |
| | 観光名所（職員） | ・予約状況が以前より悪く、またフリー客の動向も最近はやや芳しくない。大量の来客数が期待できる旅行業者のキャンペーンも、来年度に向けた予定はいまのところ無く、来客数は減少する。 |
| | 遊園地（経営者） | ・今のところ仕入先からの値上げ要請は無いが、物価高による家計圧迫の影響が懸念される。 |
| 悪くなる | 商店街（代表者） | ・景気はムードに左右されることもあるので、サブプライム問題や原油高など世界的な不安感が漂っていることも影響するが、少なくとも身の回りの物価上昇は明らかに悪い方向に作用する。 |
| | スーパー（経営者） | ・寒冷地であり暖房費がかさむこと、車は一家に3、4台というのが常識であり燃料費が家計を圧迫していること、年明けから食料品の小売価格が一斉に上がることなど、これら物価高の状況から家計において食料品、衣料品への支出が抑制される。 |
| | スーパー（店長） | ・前年と比べて競合店が4店も増え、客の買い回り、分散が拡大している。商圈人口に見合わない乱立状態のため、今後売上が伸びていく可能性は低い。 |
| | コンビニ（経営者） | ・車で30分以内の範囲にショッピングモールが4か所にもなり、人の流れが変わってしまっている。 |
| | 衣料品専門店（店長） | ・原油高に伴う物価上昇への懸念から買い控えられている状況を、接客の場面では肌で感じることができる。 |
| | 自動車備品販売店（経営者） | ・除雪の仕事に依存している人が結構いるが、現在でも積雪が無い状態である。また、これから最大の需要期を迎える暖房費が生活を圧迫する。 |
| | 住関連専門店（経営者） | ・身近なところで、事業所閉鎖や和議申請などを行っているところが6件ほどあり、先行きが非常に心配である。 |
| | その他専門店〔酒〕（経営者） | ・原油の値上げに伴い、各メーカーからは1、2月から価格を上げるとの通達があるが、間違い無く消費量に影響し、販売数量の減少が顕著にみられるようになる。当社でも対応策について思案中である。 |
| | 高級レストラン（経営者） | ・良い材料は1つも見当たらず、1月以降は深刻な状況になる。当社では支出を抑えて乗り切ろうとしているが、世間のみんながそう考えれば景気は厳しい方向に向かっていく。 |
| | その他飲食〔弁当〕（スタッフ） | ・この地域は積雪量も多いため、ガソリン、灯油の値上げは生活を直撃し景気を悪くする。 |
| | 観光型旅館（経営者） | ・1月以降も予約は低迷している。例年、予約を頂いている団体などにも動きが無い。連休などは早くから予約があるが、平日はもちろん、土曜日でも空室が発生する状況になっている。 |
| | 旅行代理店（従業員） | ・会社関係で取り止めていた行事を復活するなどの動きがほんの一部にみられるものの、家族旅行など個人消費については縮小傾向であり、全体的に悪くなっていく。 |
| 企業 動向 関連 | 良くなる | |
| | やや良くなる | |
| | 変わらない | 農林水産業（従業員） |
| | 食料品製造業（経営者） | ・牛タンの原料が高値で安定していることから、この先も状況は改善しないまま推移する。 |

| | | | |
|--------|----------------------|---|--|
| | 建設業（従業員） | ・低価格での受注が継続する間は、業界としての景気回復は望み薄である。 | |
| | 通信業（営業担当） | ・地方においても企業防衛意識が高まってきており、地域全体ではやや設備投資が上向きながらも、地場企業には依然として好況感が無く、また上向きになる要素が見当たらない。 | |
| | 広告代理店（従業員） | ・年度末でやや盛り返すであろうが、目を見張るような案件は無く、平年並みに推移する。 | |
| | 広告代理店（営業担当） | ・特に通信関係の業種では、引き合いが低調な状態が続いている。 | |
| | コピーサービス業（経営者） | ・売上を伸ばすために努力はしているものの、結果に結び付かないという悪い状況が続いている。年度末は通常月よりは取引が増える時期であるが、国、地方自治体は財政が厳しいこともあり予測がつかない。市内は空前のビル建設ラッシュであるが、商売に結び付いていない。 | |
| やや悪くなる | 農林水産業（従業者） | ・農業支援の方向性が、大規模農家から農家全般に再度変わってきた。 | |
| | 食料品製造業（経営者） | ・アメリカのスケソウダラ漁獲枠が大きな減枠になるなど来春からの原料事情が悪くなり、原材料の大幅な値上げが見込まれている。 | |
| | 一般機械器具製造業（経理担当） | ・自動車部品事業は輸出及び国内販売の環境悪化が続くものとみられ、収益率の低下傾向が継続する。 | |
| | 電気機械器具製造業（経営者） | ・年末の取引先回りでも好感度は全く無い。年度末の前倒し受注がみえず、今期は期待できない。当工業団地内でも全般的に薄商いであり、来期はもう一段の合理化を考慮に入れて対応せざるを得ない。 | |
| | 建設業（企画担当） | ・原材料の値上がりを販売価格へ転嫁すると受注競争に勝てない、という悪循環が続いている。 | |
| | 輸送業（従業員） | ・急を要しない貨物は、航空機輸送から船舶輸送へのシフトが進んでいる様子が見られる。 | |
| | 新聞販売店〔広告〕（店主） | ・取引先の業者や読者の間にもガソリン代高騰が響いているとの意見が多く、そのしわ寄せが当店の商売など多方面に波及して消費力が落ち、景気の悪化につながる。 | |
| | 経営コンサルタント | ・消費者の政治不信と将来不安が収まらない限り、消費意欲はますます減退する。 | |
| | その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者） | ・年末の需要動向から推測すると、新年会などでも酒類需要に多くは望めない。春先まで好転の材料は無い。 | |
| 悪くなる | 広告業協会（役員） | ・耐久消費財の販売量が落ちており、広告業界は明るさが見えてこない。来年度は大型プロジェクトもなく一層厳しい年になる。 | |
| | その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者） | ・12月後半になっても購買力が低い状況にあるが、この先しょう油、みそなどの値上げも予定されていることから、購買力は一層低下する。 | |
| 雇用関連 | 良くなる | 人材派遣会社（社員） | ・来年度から本格稼働する案件の成約を目指しており、新年度当初から景気は加速する。 |
| | やや良くなる | 新聞社〔求人広告〕（担当者） | ・正月の初売りに期待が掛かり、またその後には大型流通を中心に動きが活発化してくる見込みであることから、雇用面でも期待が持てる。 |
| | 変わらない | 人材派遣会社（社員） | ・取引先企業からは、4月以降の採用についてもあまり明るい話が聞かれない。 |
| | やや悪くなる | 人材派遣会社（社員） | ・新規登録者の確保が非常に厳しくなっている。この状態が続けば派遣者数が純減となる恐れがある。 |
| | | 職業安定所（職員） | ・失業給付の受給者は減少傾向が続いていたが、最近では若干増えている。小規模ではあるものの事業所の閉鎖などが増加し、求職者が増加傾向にある。 |
| | | 職業安定所（職員） | ・原油の高騰がどの業種の事業主にも少なからず心理的な圧迫感を与えているため、雇用調整までには至らなくとも、新規雇用による増員を手控える動きはしばらくは続く。 |
| | | 職業安定所（職員） | ・原油高や物価高に伴い企業は経費節減に努めることが予想され、採用活動が消極的になる懸念がある。 |
| | 悪くなる | | |